



酒々井新時代にふさわしい

100年安心して
暮らせる町を目指して



酒々井町長小坂泰久

平成25年12月、小坂町長が無投票当選により再選され、町長として第3期目を迎えました。再選後、初めての議会となる12月議会定例会の冒頭、小坂町長が所信表明演説を行いました。

本日ここに平成25年度第8回酒々井町議会定例会を招集しましたところ、議員の皆様におかれましては、年末の多端の中ご出席を賜り誠にありがとうございます。

私は、この度の町長選挙におきまして町民の皆様のご支援によりまして、第45代酒々井町長に就任することができました。改めて心から感謝を申し上げます。

本日は、町長に再選いたしまして初めての議会でありますので、ここで私の所信を申し上げさせていただきます。

町民生活の質を高める施策を重視

さて、日本は今、政治、経済、環境などあらゆる面で大きな変化の潮流に巻き込まれ、混迷から整序、様々な価値観からゆるぎない普遍性への模索がはじまっています。こうした時代の変化に対応し、酒々井町が今後も持続発展し続けるまちづくりに、精魂を傾け努力してまいりました。

こうした中、私の町長としての2期8年間の町政運営は、大変厳しいものがございましたが、町民の皆様のご理解とご協力のもと、町の借金体質からの脱却を目指すとともに、町民福祉の向上と町の均衡ある発展を図るため、町のクオリティー、町民生活の質を高めることを念頭に、子育て支援をはじめ教育環境の整備、安全・安心のまちづくりなど、各種施策を展開してまいりました。

おかげさまで、こうした私の町政運営に対し、町議会、また、多くの町民の皆様のご理解とご支援をいただき、深く感謝申し上げます。

酒々井新時代への扉を開く ICとアウトレット

懸案でありました酒々井インターチェンジの開設と酒々井南部地区新産業団地のまちびらき、更に酒々井プレミアム・アウトレットの開業と、今年は大変大きな出来事がありました。4月のアウトレッ



トの開業以来、11月までの来客者は455万人を超え、当初の集客見込みである年間350万人を既に大きく上回っています。これを機に「酒々井」の名は一気にその知名度を上げ、雇用・産業・交通・人口などの各分野に好影響をもたらしています。今後、こうした波及効果を更に活力あるまちづくりに活かせるよう努力してまいります。

新たなまちづくりキーワード

町長としての3期目は、平成23年度に策定しました第5次総合計画における前期基本計画を仕上げ、更に、後期基本計画の初期にあたります。まちづくりの基本理念「みんなが主役、未来へつなぐまちづくり」、将来都市像「人 自然 歴史が調和した活力あふれるまち 酒々井」の実現に向けて、新たな**5つのまちづくりキーワード**を考えております。



1つ目は「知の創造、情報発信はしすいから」とし、大学との連携を更に図ってまいります。

2つ目は「文化力の醸成、歴史と文化を育む」とし、生涯学習でまちづくり、住民協働で楽しい公共を進めてまいります。

3つ目は「こころと身体健康づくり」とし、生涯を通じたスポーツと80歳の青年といえる健康づくりを行ってまいります。

4つ目は「親孝行のまち、子どもは宝」とし、子どもを大切に育てる子育て支援を更に行ってまいります。

5つ目は「地産地消のまちづくり、地域産業に活力を」とし、地域にあるものを活かす元気産業づくり、有機農業と地場産業の連携による地域循環型経済、農業が結ぶ地域の縁、農縁コミュニティーを進めてまいります。

この5つのキーワードが相互に関連・連携し高品質のコンパクトシティとなるようまちづくりを進めてまいります。

第3ステージ 5つの施策

さらに、第3ステージとし、**5つの施策**を考えております。

第1に「高齢者がいきいき暮らせる町」として、

高齢者や障害を持つ人たちが、いきいきと安心して暮らせるユニバーサルデザインのまちづくり、保健福祉体制の充実、高齢者を地域全体で支える「支えあい・助け合うまちづくり」を更に進めます。

第2に「子どもたちが健やかに育つ町」として、

子育て支援の強化や安全の確保、教育環境の整備、特色ある教育活動を推進し、個性豊かでグローバルに活躍できる健全な青少年の育成を更に進めます。

第3に「町民だれもが安全・安心に暮らせる町」として、

最優先課題である震災時避難場所となる中央公民館・役場庁舎の耐震化と中川の治水対策など、子どもから高齢者まで町民一人ひとりが安全で安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域住民と行政との連携により取り組みを更に進めます。

第4に「活気と活力にあふれる町」として、

高齢化社会を迎えても持続可能なまちづくりの財政基盤となる農業・商業・工業の連携による産業振興策、酒々井インターチェンジや南部新産業団地と中心市街地の活性化を図り、「コンパクトシティ酒々井」づくりを更に進めます。

第5に「歴史と文化を大切にした魅力ある町」として、

酒々井の恵まれた自然環境の保全と歴史的文化遺産や地域資源を掘り起こし、観光振興

による交流人口の増加を図るなど「水と緑」の魅力あるまちの顔づくりを更に進めます。

以上、今後の町政運営の指針として申し上げましたが、情報公開に努め、住民参加、明朗行政を推進し、無駄を省き、行政効果を高めるとともに、自然と環境を大切に、低炭素社会への取り組みを更に進め、町政運営に当たってまいりますので、議会をはじめ町民の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、私の所信の一端といたします。よろしくようお願い申し上げます。

5つのまちづくりキーワード

知の創造 (情報発信は『しすい』から)

- ・大学との連携 (順大・聖徳大・早大)

知の拠点

大学等誘致

文化力の醸成(歴史と文化を育む)

- ・生涯学習でまちづくり 住民協働で楽しい公共

まちづくり 研究所

連携・充実

こころと身体 の健康づくり

- ・生涯を通じたスポーツ&健康づくり (80歳の青年)

健康・福祉拠点

総合福祉センターなど

親孝行のまち (子どもは宝)

- ・子どもを大切に育てる

子育て支援拠点

ファミリーサポートセンター
など

地産地消のまちづくり (地域産業に活力を)

- ・地域にあるものを活かす元気産業づくり
- ・有機農業と地場産業の連携による地域循環型経済

農縁コミュニティー

農業が結ぶ地域の縁